

出張報告書

日程及び訪問記録

● 7月9日（水）

中部国際空港発（7:20 発 NH86）
羽田発（9:40 発 NH223）
フランクフルト発（20:30 発 LH898）
ビリニュス着（23:35 着）

● 7月10日（木）ビリニュス市

- ・リトアニア国立博物館訪問
名古屋市博物館での展覧会開催に関する意向書の取り交わし
- ・ビリニュス市長表敬訪問
両市間の交流協議を進めるための覚書を締結
- ・Go Vilnius 訪問（経済関連施策視察）
経済振興機関との意見交換

● 7月11日（金）ビリニュス市

- ・BOD Group 訪問（企業視察）
環境分野等における先進的な研究開発事例についての意見交換
- ・Tech Park 訪問（経済関連施策視察）
スタートアップ支援拠点の見学及びスタートアップ施策についての意見交換

● 7月12日（土）カウナス市

- ・杉原記念館訪問
杉原千畝、リトアニアの歴史等についての展示を見学
名古屋市博物館での展覧会開催に関する協力の依頼

● 7月13日（日）

ビリニュス発（6:05 発 LH899）
フランクフルト発（12:10 発 NH204）

● 7月14日（月）

羽田着（8:10 着）品川発新幹線にて名古屋着

リトアニア国立博物館訪問

日時：7月10日（木）10：30～12：00

対応者：ルータ・カチクテー（Rūta Kačkutė）国立博物館長

同席者：シモナ・ビエリューニエ（Simona Bieliūnė）ビリニュス市副市長
清水信介駐リトアニア特命全権大使

本市側出席者

：市長、経済局長※、教育委員会事務局総務部長、総務局総合調整課長、
経済局スタートアップ支援課長※、観光文化交流局国際交流課長・課長
補佐、博物館学芸課 課長・学芸員
（※城代の館視察から参加）

- ・ 名古屋市民にリトアニアの歴史と文化を紹介するための展覧会を2026年に開催するにあたり、リトアニア国立博物館と名古屋市博物館との間の基本的な協定書である意向書を名古屋市長、ビリニュス市副市長立ち合いの元で締結した。
- ・ リトアニア国立博物館にあって、昨年開館した最も新しい施設「城代の館」の展示を視察した。



<リトアニア国立博物館視察時の様子>

<意向書締結時の様子>

市長表敬訪問

日時：７月１０日（木）１４：００～１５：００

対応者：バルダス・ベンクンスカス (Valdas Benkuskas) 市長

ヴィタウタス・ミタラス (Vytautas Mitalas) 副市長 (スポーツと健康、一般教育、教育環境担当)

ウネ・カウナイテ (Unė Kaunaitė) ビリニュス教育委員会 CEO

ユルギタ・バンカウスカイト (Jurgita Bankauskaitė) 国際課長

サウリウス・ゴマス (Saulius Gomas) 国際課係長

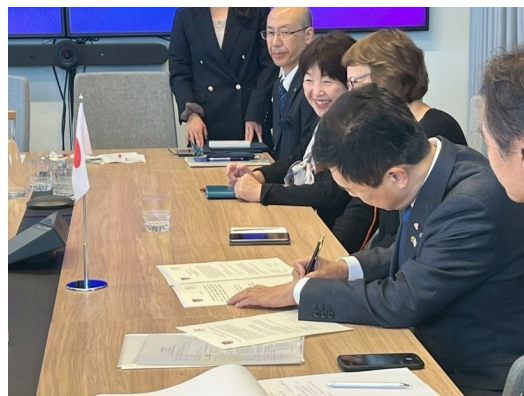
アドリアナ・シュルカイト (Adriana Šulcaitė) 国際課インターン

同席者：オーレリウス・ジーカス駐日特命全権大使

清水信介駐リトアニア特命全権大使、渡邊祥代二等書記官

本市側出席者：市長、経済局長、教育委員会事務局総務部長、総務局総合調整課長、経済局スタートアップ支援課長、観光文化交流局国際交流課長・課長補佐

- ・ ビリニュス市長と名古屋市市長は両市の交流促進に関する覚書に署名をした。姉妹都市締結への発展も視野にいれ、教育交流の話を始め、経済分野などに交流を広げていくことを確認した。
- ・ ２０２６年に名古屋市博物館で開催を予定しているリトアニアの歴史と文化を紹介するための展覧会に関して、名古屋市市長からビリニュス市長に招待状をお渡しした。



<市長表敬の様子>

GO Vilnius 訪問

日時：7月10日（木）15：00～16：00

対応者：マンギルダス・シャプラナウスカス（Mangirdas Saprunauskas）ビジネス開発部門長

同席者：ユルギタ・バンカウスカイト（Jurgita Bankauskaitė）国際課長

サウリウス・ゴマス（Saulius Gomas）国際課係長

アドリアナ・シュルカイト（Adriana Šulcaitė）国際課インターン

清水信介駐リトアニア特命全権大使、広川太郎専門調査員

本市側出席者：市長、経済局長、教育委員会事務局総務部長、総務局総合調整課長、経済局スタートアップ支援課長、観光文化交流局国際交流課長・課長補佐

内容

- ・ビリニュスが強い分野はグローバルビジネスサービス、ICT、フィンテック。
- ・300以上の企業がビリニュスに来ており、成長力が非常に高い。
- ・ビリニュスのスタートアップエコシステムはEU内で一番早く成長している。（1,100社のスタートアップがあり、2万5千人が勤めている。）
- ・外国からの投資が多く、独立前にアメリカへ渡り、活躍している人も支援してくれている。
- ・今後の課題は、AI人材。ここに今後力を入れていく。
- ・インターナショナルハウスビリニュスでは、外国から人材を集めている。運営はビリニュス市、外国人登録、保険など何でもできる。イベントなどリトアニアの人たちとの繋がりをつくるサポートもしている。
- ・非常に魅力的な動画などもあり、起業や企業誘致だけでなく、同時に人材獲得のため、住んで働きたくなる取り組みが特徴。



<GO Vilnius 訪問の様子>

BOD Group 訪問

日時：7月11日（金）10：00～12：00

対応者：

Mr. Vidmantas Janulevičius BOD Group CEO 兼 リトアニア産業連盟会長

Mr. Julius Sakalauskas SoliTek 社 CEO

Dr. Titas Gertus Visoriai Information Technology Park

Toolas クラスタ マネジャー

Mr. Saulius Arelis Visoriai Information Technology Park

宇宙クラスターリトアニア マネジャー

Mr. Edmundas Žvirblis Visoriai Information Technology Park 部門長代理

同席者：清水信介駐リトアニア特命全権大使、広川太郎専門調査員

本市側出席者：市長、経済局長、教育委員会事務局総務部長、総務局総合調整課長、経済局スタートアップ支援課長、観光文化交流局国際交流課長・課長補佐

内容

- ・当該研究地区には50以上のテクノロジー企業が集まっており、大学もある。
- ・BOD グループでは、太陽光パネルやバッテリーを開発しており、この建物は、ネットゼロ施設として、太陽光だけでなく地熱発電も行っている。
- ・特にマイクロマシーン向けのレーザーに強みがあり、海外企業とも連携している。
- ・宇宙クラスターでは、環境、防衛、農業など様々な分野で活用。宇宙と地上とのレーザーによるコミュニケーションを進めていく。
- ・「TechGALA」への参加を含め、今後、スタートアップや宇宙産業など関連する分野での経済交流を図っていくことを確認。



<BOD Group 訪問の様子>

TechPARK 訪問

日時：7月11日（金）14：00～16：00

対応者：Karolis Zukauskas 氏

同席者：清水信介駐リトアニア特命全権大使、広川太郎専門調査員

本市側出席者：市長、経済局長、教育委員会事務局総務部長、総務局総合調整課長、経済局スタートアップ支援課長、観光文化交流局国際交流課長・課長補佐

内容

- ・「Tech Park」は、10年前は病院だったところをインキュベートとしてリノベーションした。現在、26社が入居し、750人ぐらいが働いている。Tech Zity社と市役所で作っており、市役所から土地を借りている。
- ・「Tech Park」は、現在運営している5つの拠点の一つ。現在、欧州最大の拠点となる「Tech Zity」を整備している。
- ・「Tech Zity」はリトアニアで一番大きな縫製工場の跡地を活用。規模は、55,000 m²となり、5,000人が働ける場所を提供する予定。
- ・少しずつオープンしていき、2027、28年頃にすべて完成。
- ・リトアニアのスタートアップはEUで一番早く成長してきたため、人材が不足している。人材確保に力を入れていきたい。
- ・名古屋市からは、グローバルイベント「TechGALA」を説明、関連する団体やスタートアップへお声がけをいただけることになった。



<TechPARK 訪問の様子>

杉原記念館訪問

日時：7月12日（土）12：00～14：00

対応者：ラムーナス・ガルバラヴィチウス（Ramūnas Garbaravičius）杉原「命の外交官」財団 理事長
ラムーナス・ヤヌライティス（Ramūnas Janulaitis）杉原記念館副館長

同席者：オーレリウス・ジーカス駐日特命全権大使
清水信介駐リトアニア特命全権大使

本市側出席者

：市長、経済局長、教育委員会事務局総務部長、総務局総合調整課長、経済局スタートアップ支援課長、観光文化交流局国際交流課長・課長補佐

- ・ 杉原千畝の功績や「命のビザ」によって救われた人々に関する内容が展示されている杉原記念館の展示を視察した。
- ・ 2026年に名古屋市博物館で開催を予定しているリトアニアの歴史と文化を紹介するための展覧会に関して、名古屋市長から記念館副館長へ次の3点について協力を依頼し、快諾を得た。
 - ① 来館者が「命のビザ」に押されていたスタンプを押す体験展示の再現
 - ② 来館者が自らの顔の画像を「命のビザ」の顔写真の部分に表示する体験展示の再現
 - ③ 旧制第五中学校の校舎の写真のデータ提供
- ・ ソ連から独立してまだ35年であり、戦争等を体験している方が多くみえるため、本市のような若い世代への平和継承の課題は有していなかった。
- ・ 杉原記念館視察後は、カウナス市内において、杉原千畝が日本領事館を退去した後に宿泊し、滞在中もビザの発給を行ったメトロポリスホテルなど杉原に縁のある場所の視察を行った。



< 杉原記念館視察の様子 >



<カウナス市内視察の様子（メトロポリスホテル）>



<カウナス市内視察の様子（カウナス中央駅）>